

## USB ドキュメントカメラ用アプリ “Smart DC” 活用ガイド

本書は、弊社コンティニューアス AF 対応 USB ドキュメントカメラを使って静止画や動画の表示、編集が可能なアプリケーションです。

### ■本書をお読みいただく前に

本書をお読みいただく前に、必ず USB ドキュメントカメラの「設定ガイド」等の説明書をお読みになり、USB ドキュメントカメラの接続の準備を完了しておいてください。

Copyright®2023 Princeton Ltd.

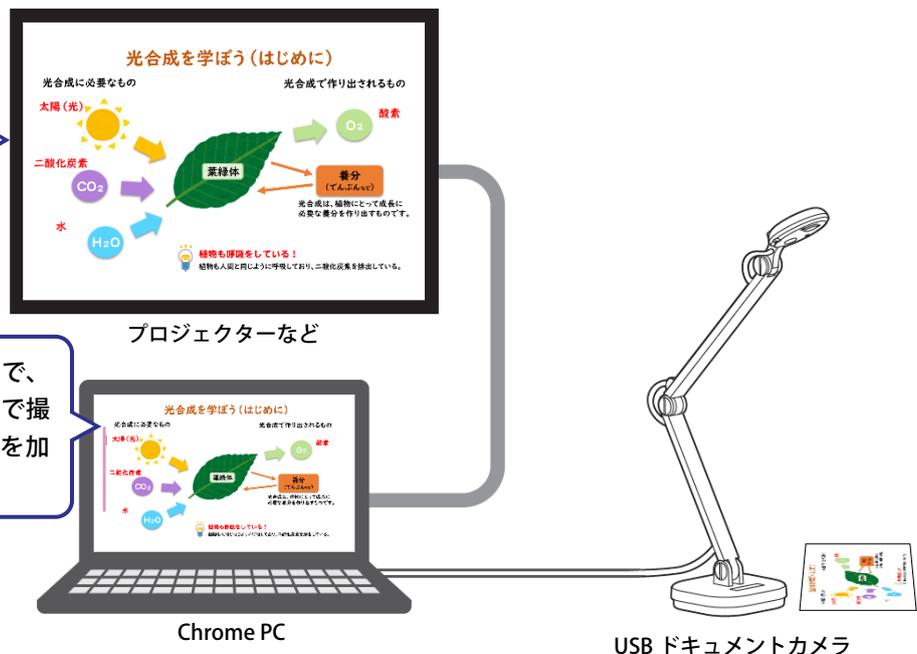
“Smart DC” は、USB ドキュメントカメラで撮影している映像を映し出して、編集を加えることができるアプリケーションです。本書では、Chromebook に USB ドキュメントカメラを接続し、“Smart DC” を使って映像を利用する方法を説明します。

### “Smart DC” の機能

- USB ドキュメントカメラと接続した Chrome PC に “Smart DC” をインストールすることで、カメラから映し出された映像に編集や加工が可能です。
- USB ドキュメントカメラで撮影している映像を反転させたり、明るさやホワイトバランスなどの調整が可能です。
- USB ドキュメントカメラで撮影している映像を静止画や動画として保存することができます。
- Chrome PC に保存されている静止画や動画を表示または再生することができます。静止画については文字や図形を加えたり、各種編集が可能です。
- 白紙のキャンバス上に図形や文字を入力し、画像として保存できます。
- USB ドキュメントカメラで表示中の映像や表示中の画像に、保存された画像を挿入することができます。

編集・加工後の映像をプロジェクターなどに表示することができます。

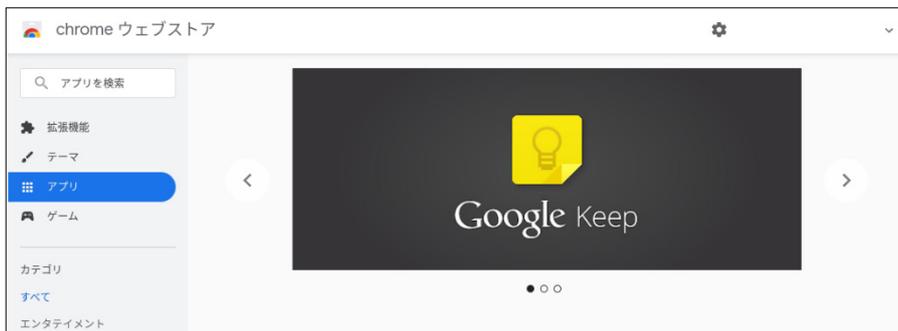
Smart DC を使用することで、USB ドキュメントカメラで撮影した映像に編集や加工を加えることができます。



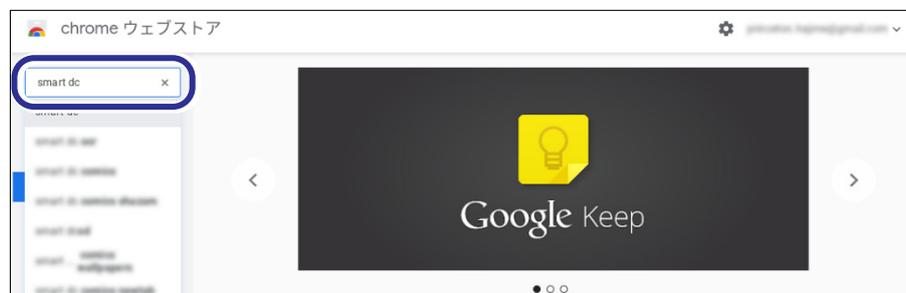
# Smart DC をインストールする

“Smart DC” を「Chrome ウェブストア」からインストールする手順を説明します。

## ① Chrome ブラウザで「Chrome ウェブストア」に接続します。

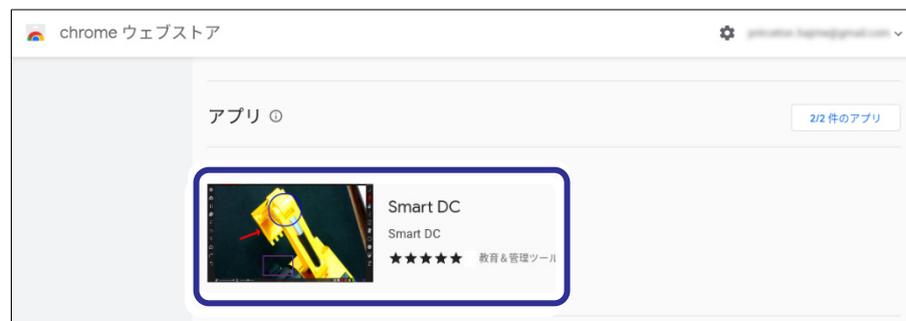


## ② [アプリを検索]で“Smart DC”を検索します。



・「smart dc」と入力し、エンターキーを押します。

## ③ アプリの一覧に“Smart DC”が表示されますのでタップします。



・開いた状態で“Smart DC”が見えない場合は、下へスクロールします。

## ④ [Chrome に追加]をタップします。



5 [アプリを追加]をタップします。

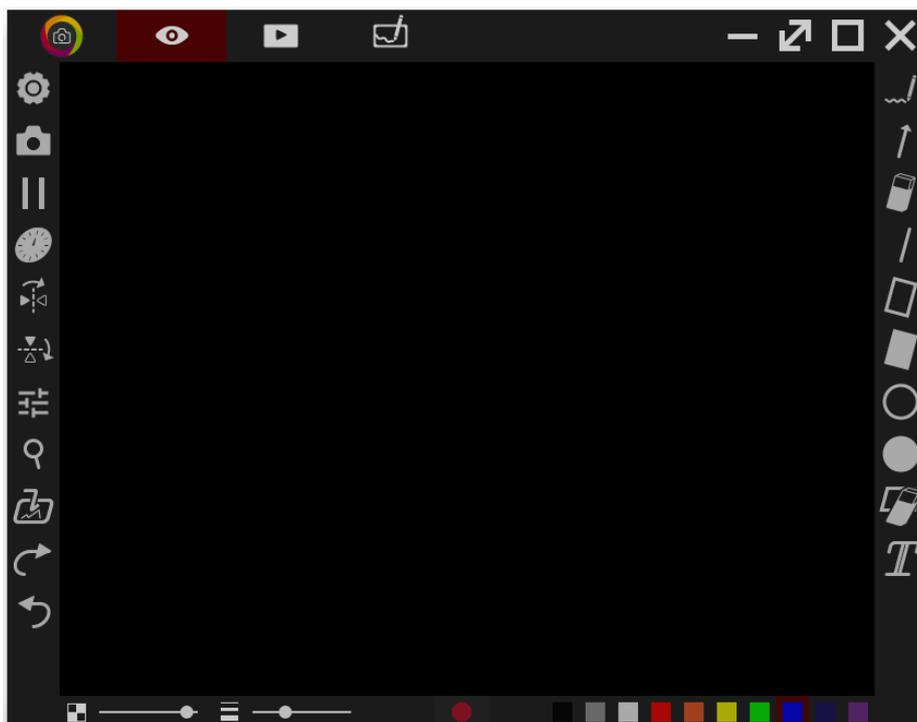


・アプリがインストールされます。

6 [アプリを起動]をタップします。



7 “Smart DC” が起動します。



・これでインストールは完了です。

MEMO

右上の✕をタップすると “Smart DC” を終了します。

# “Smart DC” の起動と終了

## MEMO

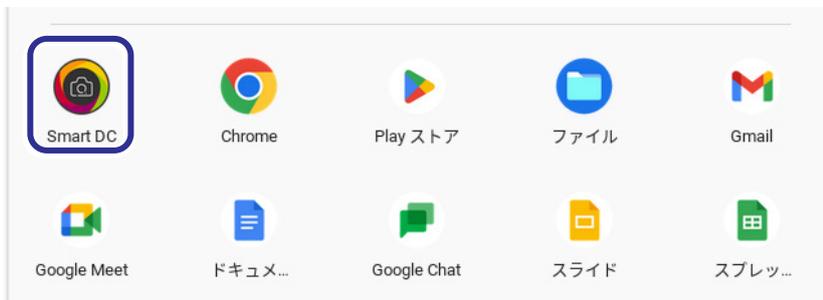
あらかじめパソコン本体に USB ドキュメントカメラを接続しておいてください。

## 起動する

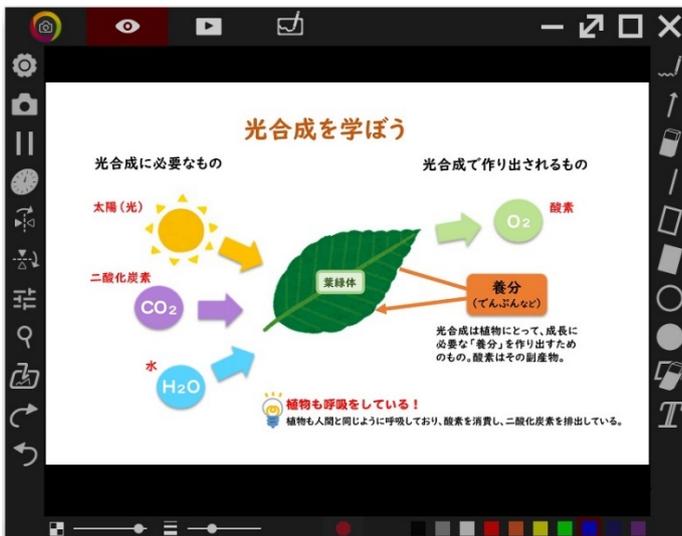
- 1 デスクトップ画面の左下にあるランチャーをタップします。



- 2 一覧にあるアイコンをタップします。



- 3 “Smart DC” が起動します。



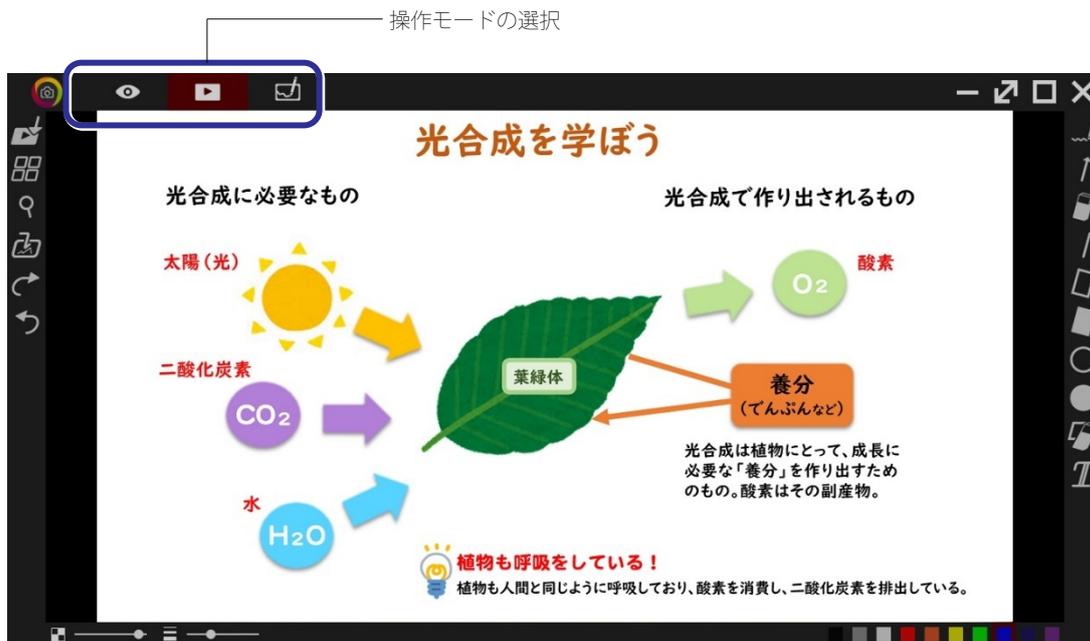
## 終了する

- 1 アプリ右上の  をタップするとアプリを終了します。



# “Smart DC” の基本画面

“Smart DC” を起動した時に表示される基本画面について説明します。



## ■ 操作モード

本アプリには3つのモードがあります。必要に応じて3つのモードを使いこなすことで、プレゼンや授業などでの表現の幅を広げることができます。起動時は「ライブモード」が表示されます。

	ライブモード	USB ドキュメントカメラで撮影中の映像を表示します。表示中の映像について、画像調整やキャプチャーなど各種操作が可能です。また、描画機能を使って表示中の映像に文字や図形などを自由に描画することができます。	→P6 へ
	再生モード	“Smart DC” でキャプチャーした画像や動画などのファイルを表示します。また、描画機能を使って表示中の映像に文字や図形などを自由に描画することができます。	→P9 へ
	描画モード	描画機能を使ってキャンバスに文字や図形などを自由に描画することができます。描画した画像は保存することができます。	→P12 へ

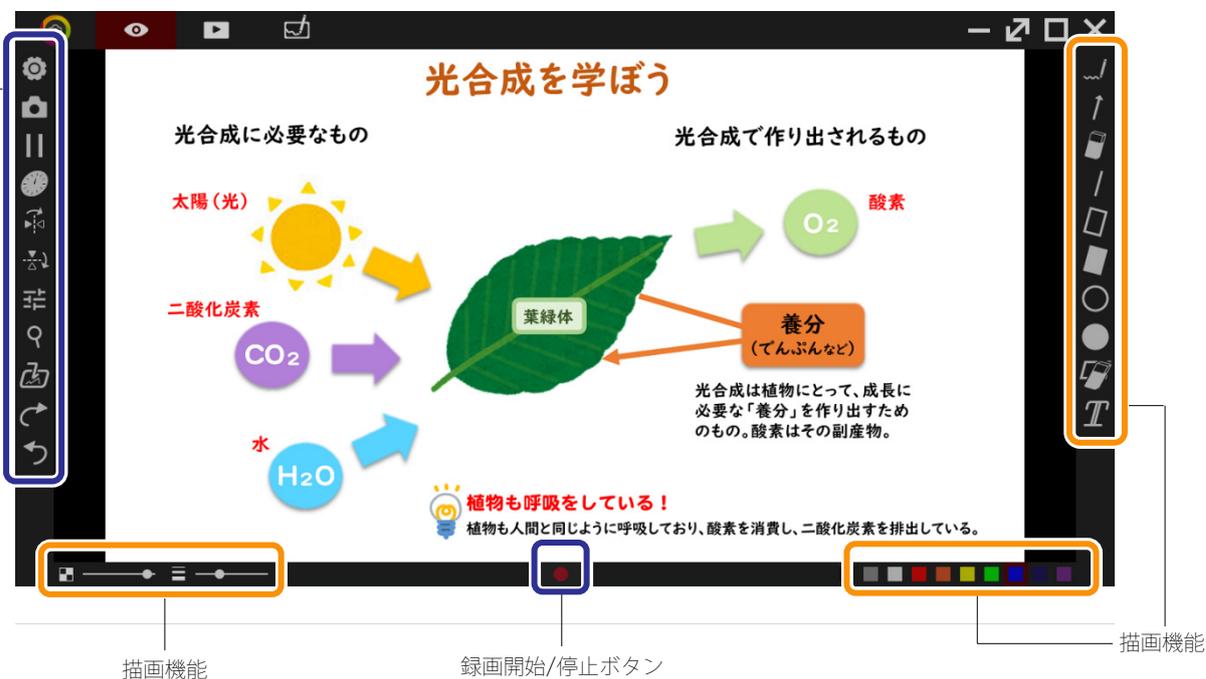
## ■ その他のアイコンの機能

	アバウト画面	“Smart DC” のアプリケーション名とバージョンを表示します。
	画面最小化	“Smart DC” の画面を最小化します。
	全画面表示	“Smart DC” の操作アイコンを非表示にして、撮影中の映像だけを表示します。全画面表示の状態、画面をタッチすると、このアイコンだけが右上に表示されますので、再度タッチすると元の大きさに戻ります。
	画面最大化	“Smart DC” の画面を最大化し、フルスクリーンで表示します。再度タッチすると元の画面の大きさに戻ります。
	アプリケーションの終了	“Smart DC” を終了します。

# ライブモードの使いかた

USB ドキュメントカメラの映像を“Smart DC”に表示します。ライブモードでは、表示中の映像について各種設定や操作、映像に重ねて文字や図形などの描画が可能です。

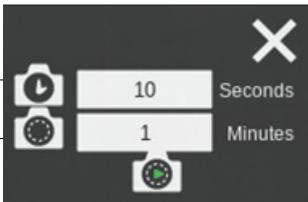
ライブモードの機能



## MEMO

描画機能に関する操作説明は、P12「描画モードの使いかた」の説明をお読みください。

	設定		解像度の選択 “Smart DC”の画面に表示する映像の解像度を選択できます。
			フォント設定 描画機能でテキスト入力をする場合のフォントの種類、スタイル、サイズを設定できます。
	スチル撮影		アイコンをタップすることで、表示されている映像を静止画として保存できます。画像は再生モードの一覧表示画面に追加されます。
	一時停止		表示中の映像に動きがある場合、アイコンをタップするとその瞬間で映像を固定することができます。もう一度アイコンをタップすると解除されます。 ※固定した映像を保存したい場合は、  をタップして保存してください。
	インターバル撮影		指定した時間内(分)に、指定した間隔(秒)で映像を静止画としてキャプチャーします。画像は再生モードの一覧表示画面に追加されます。  をタップすると撮影がスタートします。



間隔(秒) — 10 Seconds

時間(分) — 1 Minutes

開始ボタン

インターバル撮影中は、映像下方に撮影状況を表示します。

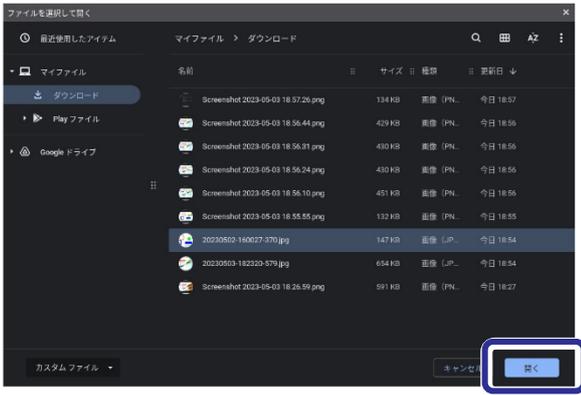
	左右反転	撮影中の映像を左右反転します。
	上下反転	撮影中の映像を上下反転します。
	画像調整	<p>映像の明るさ、映像の回転、ホワイトバランスを調整できます。をクリックすると初期値に戻せます。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>明るさ：左右にスライドさせることで、画面の明るさを調整できます</p> <p>回転：左にスライドすると反時計回りに 180°、右にスライドすると時計回りに 180° 回転できます。</p> <p>ホワイトバランス：映像のホワイトバランスを調整できます。左右にスライドすることで、映像の白色部分が白色になるよう調整することができます。</p>
	映像の拡大/縮小	<p>左右にスライドすることで、表示中の映像を拡大/縮小できます。左端が 100%表示になります。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
	画像のインサート	<p>撮影中の映像の上に保存している画像ファイルをインサートできます。インサートできるのは静止画のみで動画はできません。</p> <p>操作については、このあとの「画像をインサートする」をお読みください。</p>
	やり直す	取り消した操作(元に戻す)をやり直します。
	元に戻す	タッチするたびに、ひとつ前の操作状態に戻ります。
	録画開始/停止	表示中の映像を録画します。もう一度タッチすることで録画を終了します。録画中は他の操作はできません。USB ドキュメントカメラのマイクが有効な場合は音声も録音されます。動画は再生モードの一覧表示画面に追加されます。

## 画像をインサートする

保存されている画像(静止画)を現在表示中の映像にインサートし、指定した場所に自由な大きさに重ねることができます。

- ① ベースとなる映像や画像を表示した状態で、をタップします。

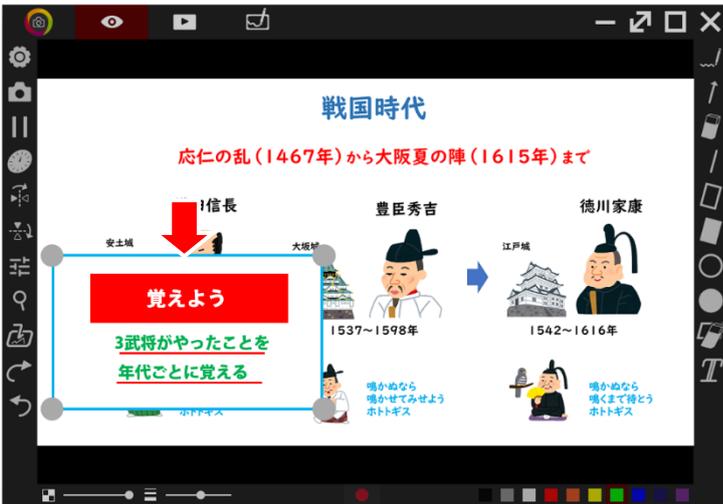
② インサートしたい画像を選択し、[開く]ボタンをタップします。



③ 画像の4辺に●が表示された状態でインサートされます。いずれかの●をスワイプし、画像の大きさを調整します。



④ 画像を配置した位置までドラッグします。



⑤ 画像の任意の場所をタッチすることで確定します。

## MEMO

やり直したい場合やインサートした画像を消したい場合は、🔄をタップすることで、操作前の状態に戻すことができます。

# 再生モードの使いかた

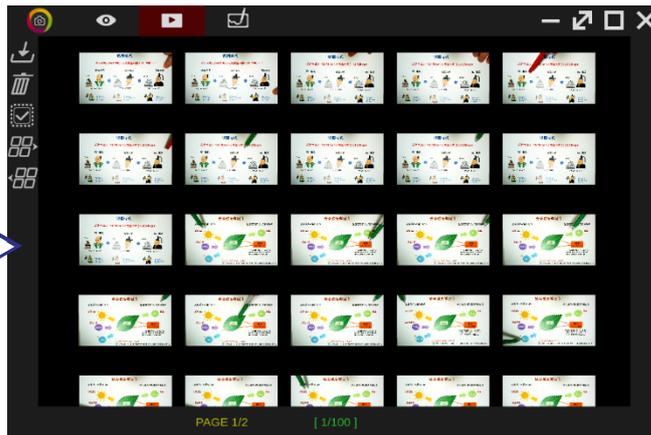
パソコンに保存されている静止画を表示したり、動画を再生したりできます。ライブモードで撮影した静止画や動画にも使えます。また、表示中の静止画には、文字や線画などを描画することができます。

## 基本操作

再生モードを選択すると保存されている静止画および動画ファイルが一覧(サムネイル)で表示されます。表示したいファイルのサムネイルをダブルタップすると、その画像または動画だけを表示します。

### ● 一覧表示画面

表示したい静止画  
または動画をダブル  
タップします



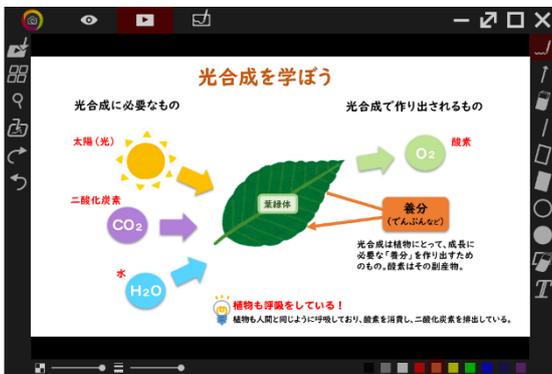
静止画を選択した場合



動画を再生した場合

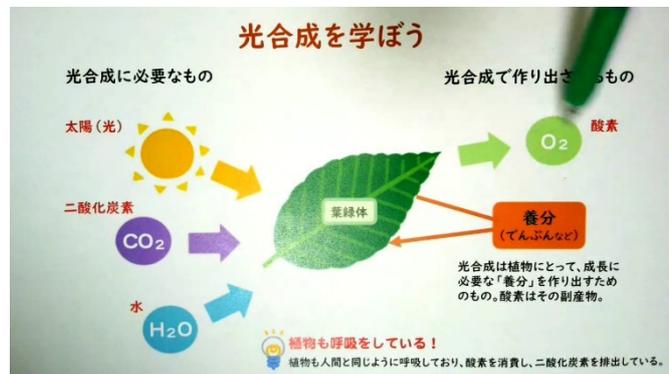


### ● 編集画面



静止画を編集したり、描画したりできる編集画面を表示します。

### ● 動画再生画面

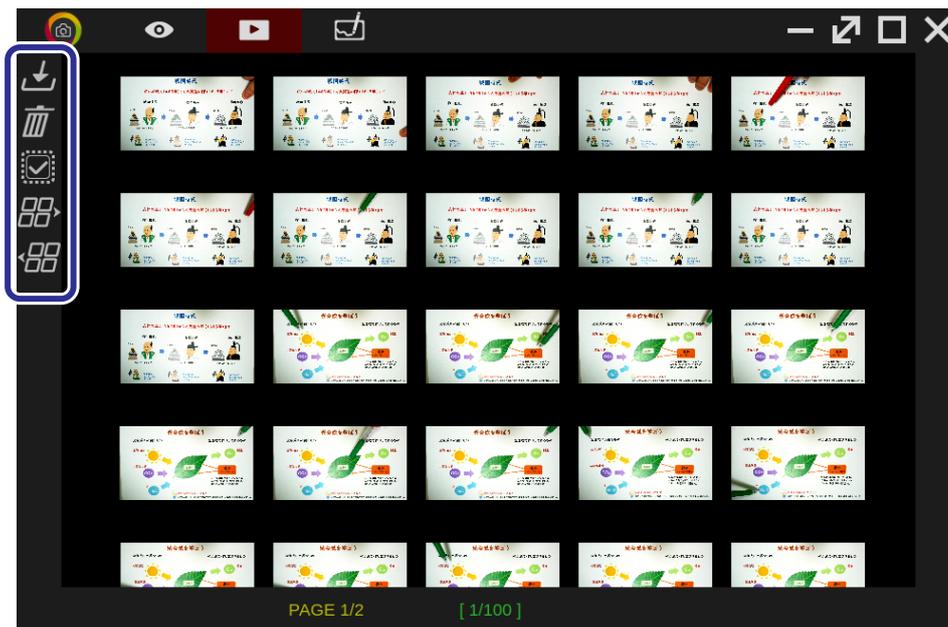


動画を全画面の状態再生します。音声録音されている場合は、音声も再生されます。再生が終わると一覧表示画面に戻ります。

## MEMO

- 描画機能に関する操作説明は、P12「描画モードの使いかた」の説明をお読みください。
- 動画の再生を途中で中止する場合は、[ESC]キーを押します。

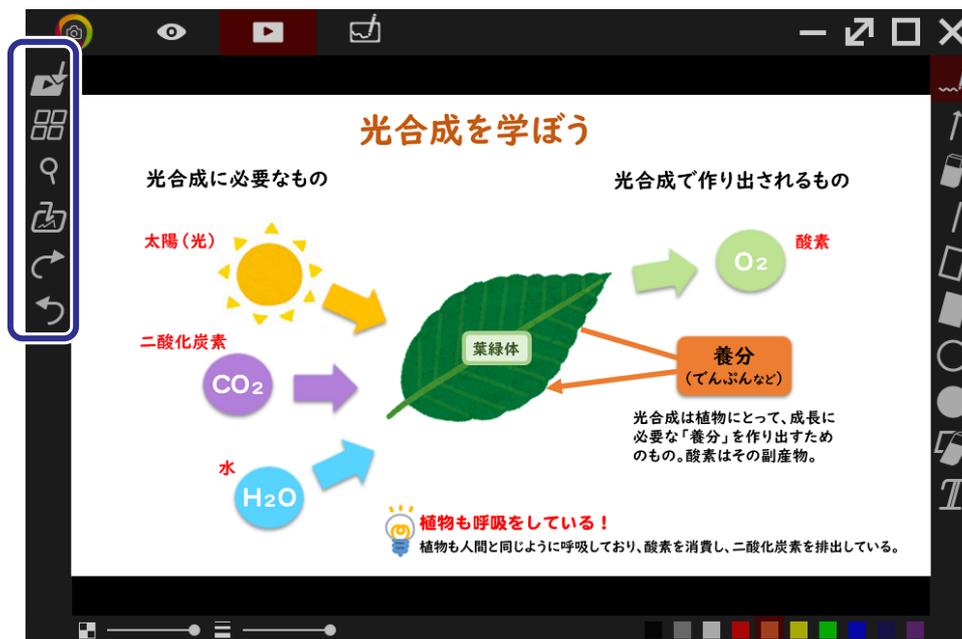
## 一覧表示画面の機能



	ファイルの保存	選択した静止画または動画を指定したフォルダに保存します。1 ページあたり 100 ファイルを保存します。 ● 静止画の場合 ①  をタップします。以下の画面で保存したいファイル形式をタップします。  ② 「フォルダを選択して開く」画面で保存先を指定します。 ・保存した静止画は画像のインサートで使用できます。 ● 動画の場合 ①  をタップします。動画は「webm」形式で保存されます。 ・Webm 形式の動画は、Chrome ブラウザから再生することができます。 ② 「フォルダを選択して開く」画面で保存先を指定します。
	ファイルの削除	選択中のファイルを削除します。複数のファイルを選択している場合は、同時に削除されます。  をタップすると、確認画面が表示されます。  をタップすると削除が実行され、  をタップすると削除を中止します。 ※削除したファイルは Chrome OS のゴミ箱には保存されません。
	全選択	リストにある画像ファイルを全選択します。全選択状態でもう一度  をタップすると全選択を解除します。 選択された状態(黄色い枠付き)のファイルをタップすると、そのファイルのみ選択が解除されます。
	次ページへ	複数のページがある場合に、次のページへ移動します。
	前ページへ	複数のページがある場合に、前のページへ移動します。

## 編集画面の機能

静止画を選択した場合に表示される画面です。静止画の編集や描画機能を使って図形や文字を書き込むことができます。



	ファイルの保存	画像のインサートや描画などで画像を加工した場合、加工後のファイルを新たに一覧表示に追加します。加工前のファイルはそのまま残ります。
	一覧表示	一覧表示に戻ります。
	映像の拡大/縮小	左右にスライドすることで、表示中の映像を拡大/縮小できます。左端が 100%表示になります。
	画像のインサート	表示中の画像に保存している画像ファイルをインサートできます。インサートできるのは静止画のみで動画はできません。 操作については、P7の「画像をインサートする」をお読みください。
	やり直す	取り消した操作(元に戻す)をやり直します。
	元に戻す	タッチするたびに、ひとつ前の操作状態に戻ります。

## MEMO

描画機能に関する操作説明は、P12「描画モードの使いかた」の説明をお読みください。

## 動画再生画面の機能

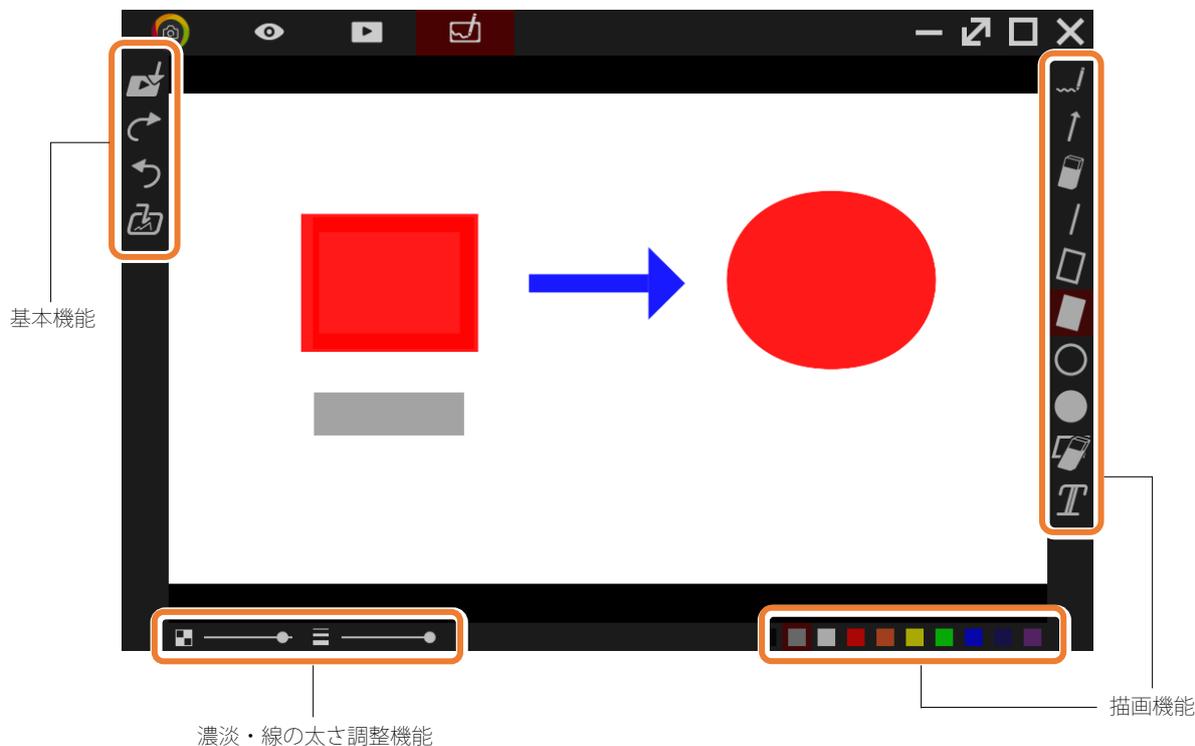
動画再生中に使える機能はありません。再生が終了すると一覧表示画面に戻ります。再生を途中で中止する場合は、[ESC]キーを押します。

## 描画モードの使いかた

白紙の画面に文字や線画、イラストなどを描くことができます。描画機能については、描画モード以外のライブモード、プレイバックモードでも、それぞれのモードで表示している内容に対して描画機能を使うことができます。

### ご注意

キャンバスに描いた内容は、そのままでは終了した時点で削除されます。必要に応じて保存してください。



### ■ 基本機能

	ファイルの保存	作成した画像を保存します。保存された画像は、再生モードの一覧画面に確認できます。
	やり直す	取り消した操作(元に戻す)をやり直します。
	元に戻す	タッチするたびに、ひとつ前の操作状態に戻ります。
	画像のインサート	保存している画像ファイルを撮影中の映像の上にインサートすることができます。操作については、P7の「画像をインサートする」をお読みください。

### ■ 色・線の調整機能

	色の濃淡	左右にスライドすることで、描画する色の濃さを指定できます。右端が100%で左にスライドするほど薄くなります。
	線の太さ	左右にスライドすることで、線の太さを指定できます。左にスライドするほど細く、右にスライドするほど太くなります。
	カラーパレット	描画する色を指定できます。9色の中から選べます。

## ■ 描画機能

描画方法については、開始点を決めて終了点までそのままスワイプすることで描画できます。

	ペン	フリーハンドで線を描画できます。画面下のパレットとスライドバーで、線の色や太さ、色の濃さを設定できます。
	矢印	矢印付きの直線を描画できます。終点側に矢印が作成されます。画面下のパレットとスライドバーで、線の色や太さ、色の濃さを設定できます。
	消しゴム	スワイプした部分の描画を消します。
	直線	直線を描画できます。画面下のパレットとスライドバーで、線の色や太さ、色の濃さを設定できます。
	四角形(線)	線による四角形を描画できます。画面下のパレットとスライドバーで、線の色や太さ、色の濃さを設定できます。
	四角形(ベタ塗り)	内側全体を塗りつぶした四角形を描画できます。画面下のパレットとスライドバーで、色や輪郭線の太さ、色の濃さを設定できます。
	円形(線)	線による円形を描画できます。画面下のパレットとスライドバーで、線の色や太さ、色の濃さを設定できます。
	円形(ベタ塗り)	内側全体を塗りつぶした円形を描画できます。画面下のパレットとスライドバーで、色や輪郭線の太さ、色の濃さを設定できます。
	全消去	キャンバス上に描画した内容をすべて消去します。
	文字入力	指定した位置にテキスト文字を入力できます。 詳しくはこのあとの「テキスト文字を入力する」をお読みください。

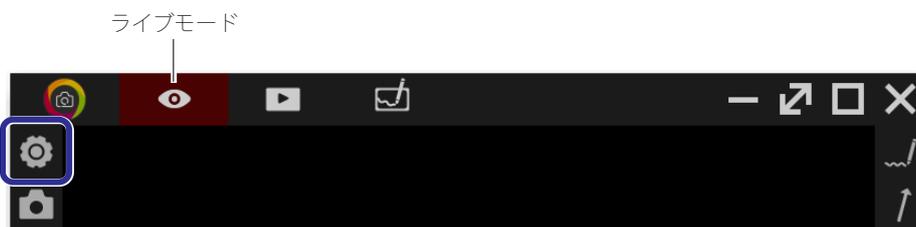
## ■ テキスト文字を入力する

任意の場所にテキスト文字を入力することができます。

### ■ フォントの種類やサイズをあらかじめ指定する

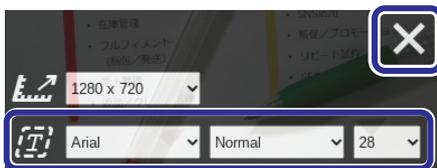
入力作業の前に、入力したい文字のフォントの種類とサイズをあらかじめ指定する必要があります。

- 1 ライブモードを表示し、画面左の  をタップします。



※他のモードで描画中にライブモードに切り替えても、描画中の内容はそのまま消えることはありません。

- 2 フォントの種類、修飾、サイズを指定し、 をタップします。



## ■ 文字を入力する

- 1 パレットで文字の色を選択し、**T** をタップします。

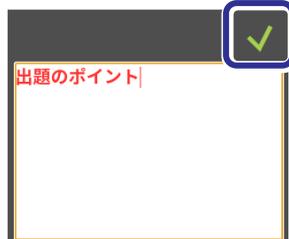


- 2 キャンバス(画像)上で、文字を配置したい場所の先頭部分をタップします。

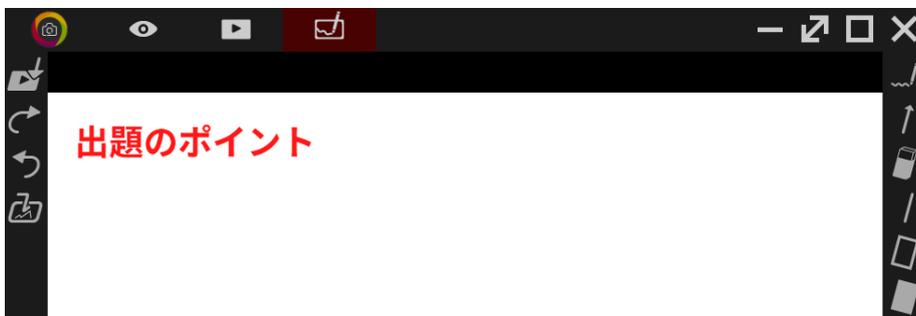


・文字入力パレットが表示されます。

- 3 文字を入力し、**✓** をタップします。



- 4 指定した場所に文字が表示されます。



### MEMO

入力後の文字の位置などを修正することはできません。**↶** をタップして操作をやり直してください。